

洞爺湖芸術館 コレクション企画

ビエンナーレ特別展

—触れて味わう作品展—



「SWARZ MANTEL BLACK COAT」
DUNN, Mary Margaret

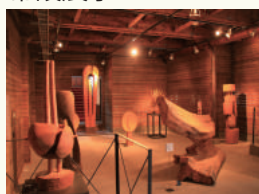
2017. 10.28 (土) ▶ 11.30 (木)

【開館時間】10:00～16:00 (入館は15:30まで)

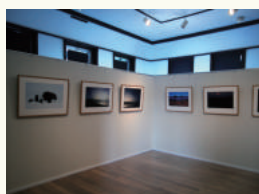
【入館料】一般300円、高校生200円、小中学生100円(洞爺湖町民無料)※その他割引あり

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) ※11/11(土)は、イベントのため一部ご鑑賞になれません。

常設展示



砂澤ビッキ彫刻作品



並河萬里写真作品

◆洞爺湖芸術館は、12月1日(金)～3月末日まで冬季休館となります。



洞爺湖芸術館
TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町 96
TEL & FAX 0142-87-2525
<http://www.geijutukan.net>

【主催】洞爺湖芸術館

【共催】洞爺湖町

【協力】洞爺観光ホテル・(株)高橋建設・洞爺温泉病院・伝建設(株)・伊達信用金庫・高清水建設(株)・乃の風リゾート・幸清会

2017 ビエンナーレ特別展 一触れて味わう作品展一

1993年から2007年まで、2年に1回行なわれた「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」。今回のコレクション企画では、当館に収蔵されている全86点の中から、手で触っていただける作品を展示します。彫刻の鑑賞は、本来、360度全方位からじっくり目で見て、触ってみるのが最良とされています。そこで今回は、皆さまに「作品に手を触れないで」ではなく、特別に手で触れて感じていただくことにしました。彫刻の醍醐味を思う存分味わってください。



「富山の思い出」
張慶南



「TAGUMPAY (LAURELS)」
ORLINA, Ramon Gahol



「音(ね)」
武田由宇



「揺れる白」
内田みどり

ギャラリートーク 札幌芸術の森美術館 館長・佐藤友哉氏

テーマ：「彫刻とオブジェのあいだ」

「とうや湖ぐるっと彫刻公園」の彫刻群。そして「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」作品の数多くのオブジェや砂澤ビッキの木彫。洞爺湖畔は全国でも有数の彫刻芸術の宝庫です。これらの作品の魅力を見直しながら、彫刻芸術の今とこれからを考えます。

日時：2017年11月11日(土) 午後2時～3時半

場所：洞爺湖芸術館 2階ビエンナーレ展示室

料金：無料(要入館料 ※洞爺湖町民無料)

定員：先着50名 ※要申込み(洞爺湖芸術館 0142-87-2525 まで)



佐藤友哉氏

佐藤友哉(ともよし)氏略歴

1952年 釧路市生まれ。

1974年 北海道教育大学札幌分校卒業。

北海道教育庁新美術館建設準備室、北海道立近代美術館学芸員を経て、

1985年～1987年 北海道立旭川美術館学芸課長。

1987年～2004年 北海道立近代美術館学芸第二課長、同館学芸第一課長等を歴任。

2004年 同館学芸副館長。

2012年 札幌芸術の森美術館館長に就任。現在に至る。

専門分野 現代美術・北海道の美術

著書 『木田金次郎』 ミュージアム新書7 北海道新聞社 1987

『北海道の現代芸術』 北海道学院大学人文学会 1990(共著)

『北岡文雄』 ミュージアム新書13 北海道新聞社 1993 など



洞爺湖芸術館
までのアクセス

バス：札幌駅バスターミナルより洞爺湖温泉行き
「洞爺水の駅」下車 徒歩3分

車：札幌から230号線 約2時間
室蘭から37号線 約1時間20分

